

広島県  
商工会地域

# 中小企業景況調査報告書

第177回

令和6年7～9月期 実績

令和6年10～12月期 予測

令和6年9月

広島県商工会連合会

## 中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,793企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会  
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北  
(対象企業) 231社  
製造業51 建設業42 小売業68 サービス業70
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和6年7月～9月期実績、及び令和6年10月～12月期見通し
5. 調査時点 令和6年9月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。  
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

[https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/survey/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html)

■ 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>

■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

## 1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第177回中小企業景況調査(2024年7-9月期)のポイント」より

### ・中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2024年7-9月期)から1.4ポイント減(▲17.1)と2期ぶりに低下。産業別では、建設業で0.1ポイント増(▲11.7)と上昇、卸売業で1.9ポイント減(▲14.3)、小売業で1.9ポイント減(▲26.9)、サービス業で1.7ポイント減(▲10.5)、製造業で0.9ポイント減(▲19.7)と低下。来期の見通しは、全ての産業で上昇の見込。

来期見通しは、全産業で上昇し、産業別では、建設業を除く4産業で上昇の見込み。

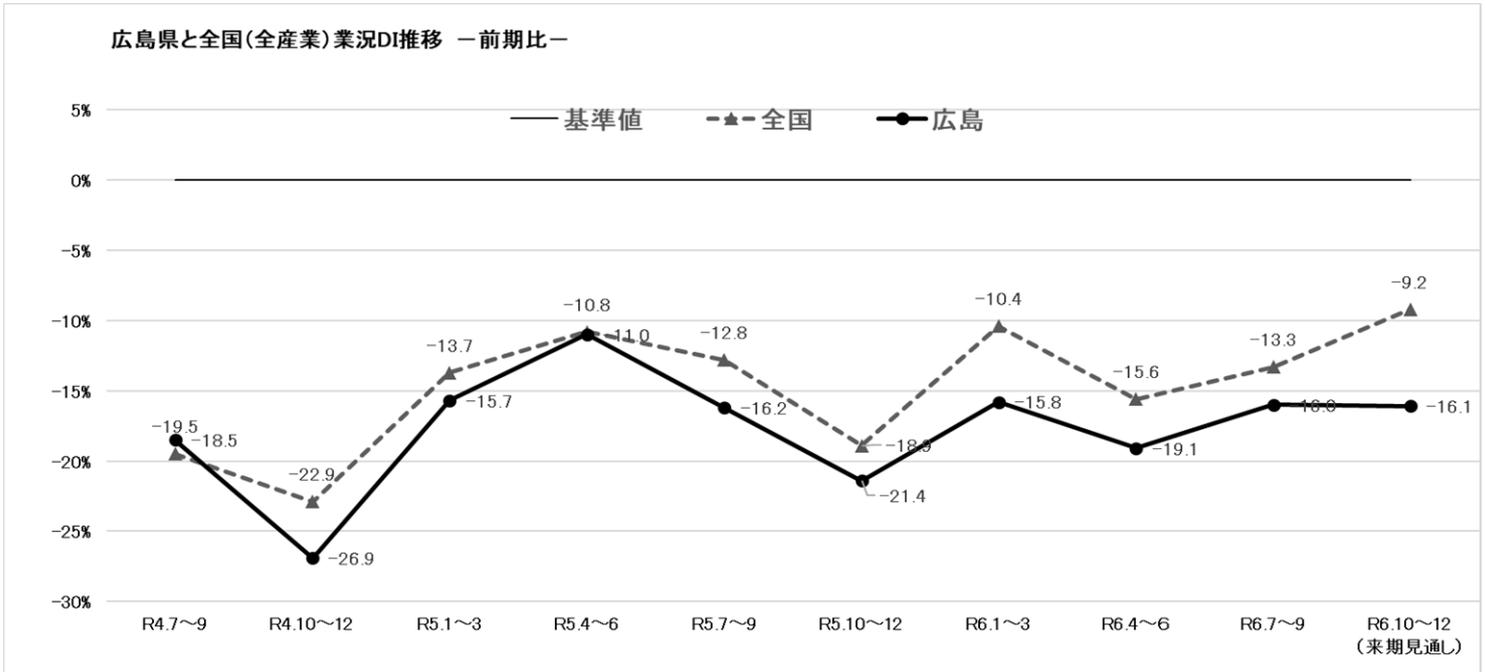
### ・売上単価・客単価DIは、産業別の格差が拡大

「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、産業間の格差が相対的に縮小し、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」に比べ高水準が続いており、いずれの産業においても上昇感が弱まった。一方、「売上単価・客単価DI(前年度期比)」は小売業のみが▲4.4とマイナス圏となっており、コロナ前に比べて産業間の格差が拡大している。

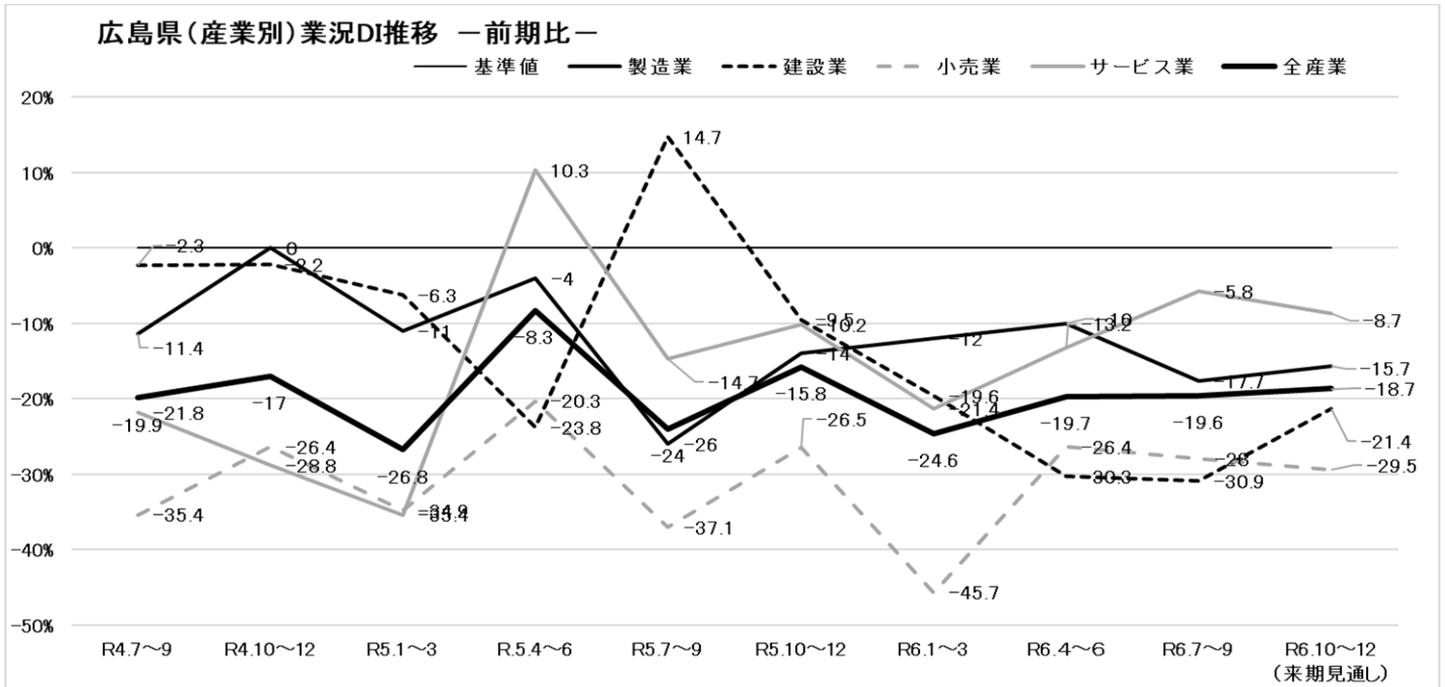
### ・従業員数の過不足DIは、不足感が続く

全産業の「従業員数過不足DI(今期の水準)」は、前期(2024年4-6期)から0.5ポイント減(▲22.1)と2期ぶりに低下。特に、建設業では2.5ポイント減(▲40.8)と不足感が強まった。建設業の回答内訳をみると、2022年10-12期以降、「不足」の回答割合は4割程度の水準で推移。

2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ



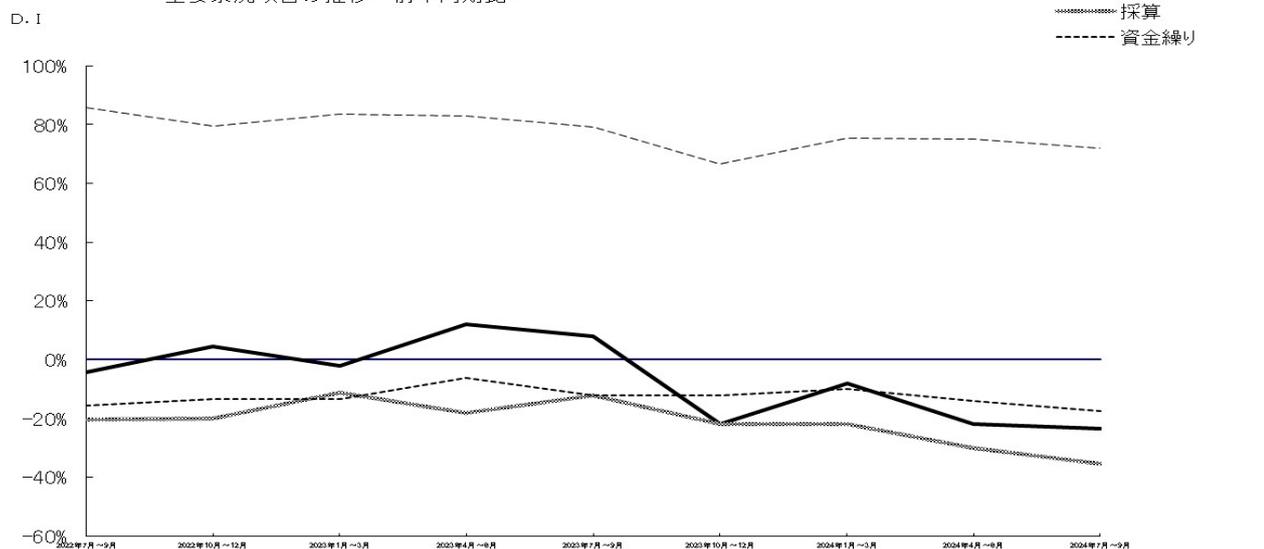
## 製造業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R6.4～6	(今期) R6.7～9	前期との比較	今期との比較
売上額	-22.0	-23.5	↘	→
原材料仕入単価	75.0	72.0	↘	↘
採算	-30.0	-35.3	↘	↗
資金繰り	-14.0	-17.6	↘	↗

### 広島県 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



### ..... 企業のコメント .....

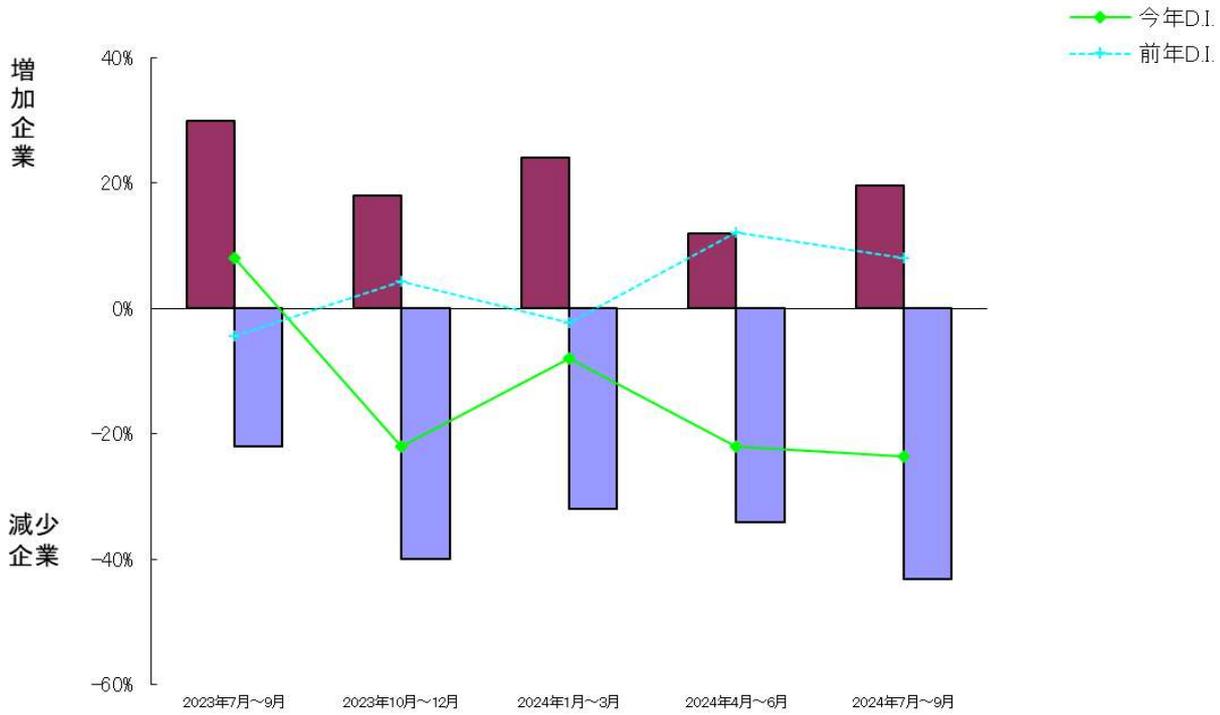
- ・世の中は景気がよいと聞きますが、なかなか厳しい状況で実感がありません。
- ・浜値が高止まりしており、原料並みに製品単価も上昇気配。シーズンの10月以降の価格交渉を続けているため、昨年も価格上昇に応諾いただいていることから、今期の更なる価格上昇は厳しい状況にある
- ・依然として人材不足の状況が続いており、計画通りの採用は厳しい。仕事量があるにもかかわらず機会損失が生じている。
- ・受注は好調であるが生産に時間が掛かるため、お客様に待って頂いている。価格転嫁して売り上げ増に繋げたい。
- ・原材料が再び値上げの動きや最低賃金も大きく改定、金利上昇など、利益の確保に十分に注意しないといけない。価格改定の交渉が重大である。
- ・生活様式の変化、職人の減少、高齢化、和室の用途の変化、職人を集めるのに苦労、日程がうまく回らない等、無駄な空間となりつつある。本格的な日本間を作る事が出来なくなってくると思う。
- ・コロナの影響も収まり景況回復を予測していたが、猛暑により客足の低下が心配される。不変であればよしとする状況である。材料費(プラ)の値上がりが続き、その度に準じて値上げすることもできず、板挟みである。

# 製造業（商工会地域）

## 2.売上額(加工額) -前年同期比-

### 広島県 製造業

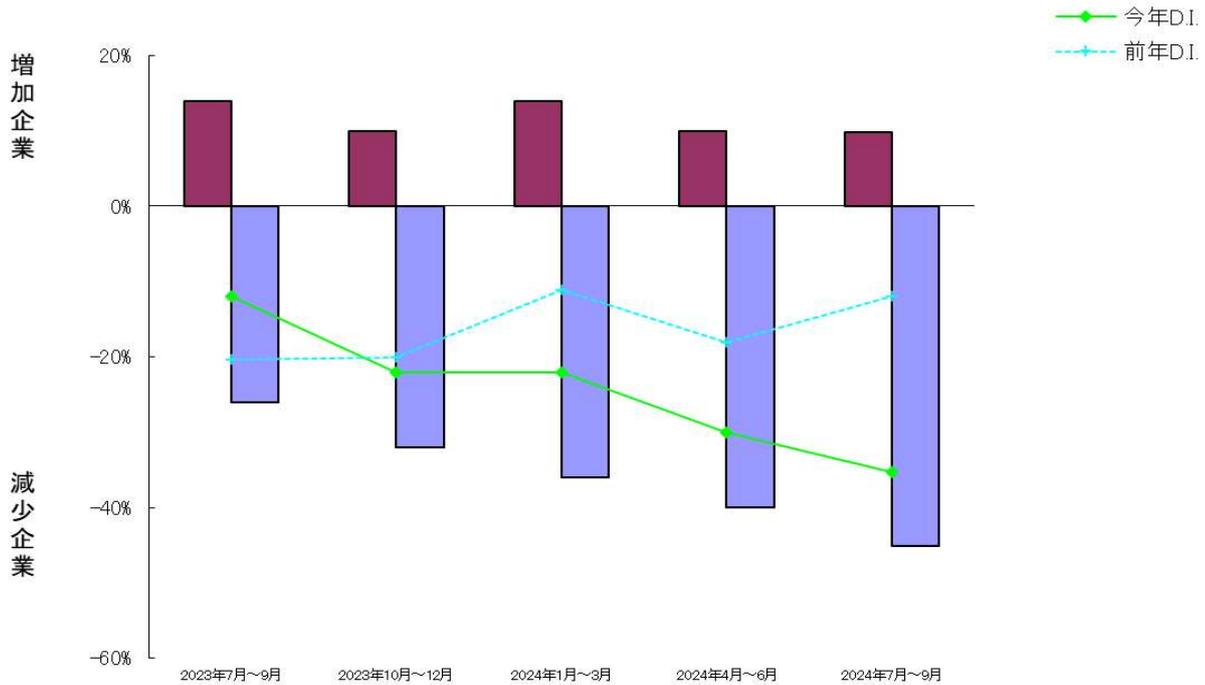
売上額の状況 - 前年同期比 -



## 3.採算(経常利益) -前年同期比-

### 広島県 製造業

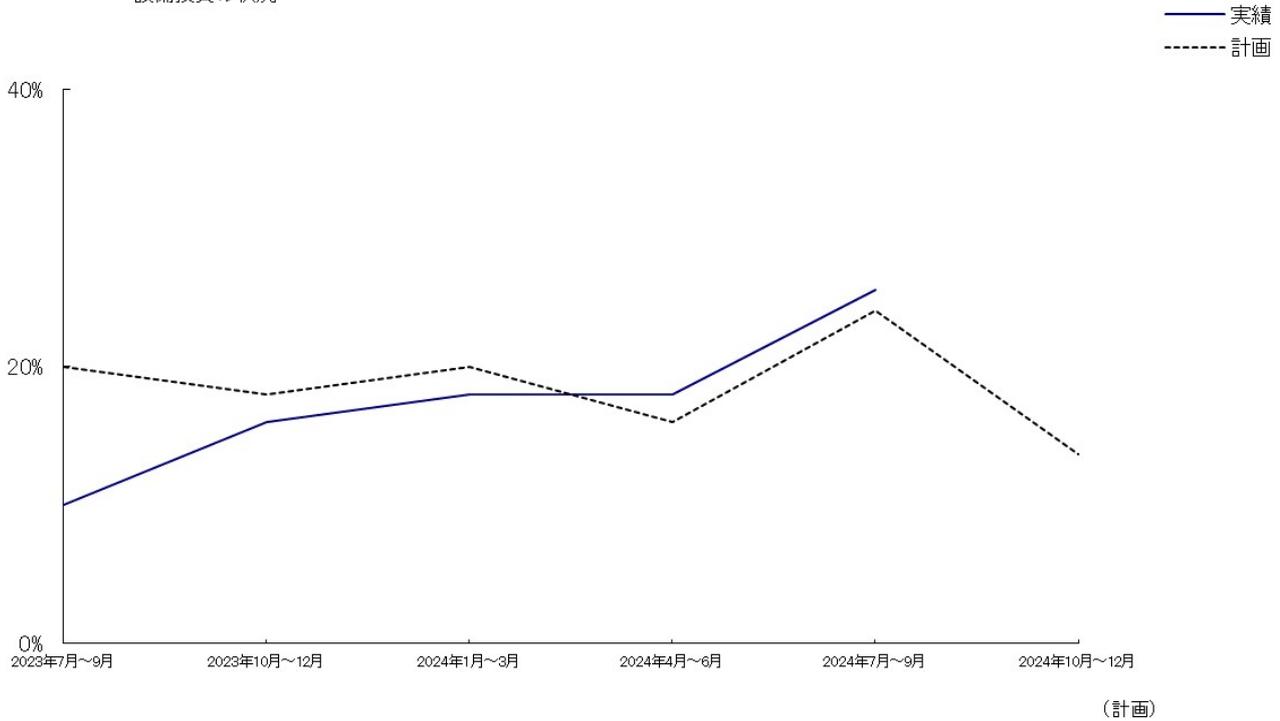
採算の状況 - 前年同期比 -



## 4.設備投資の状況

広島県 製造業

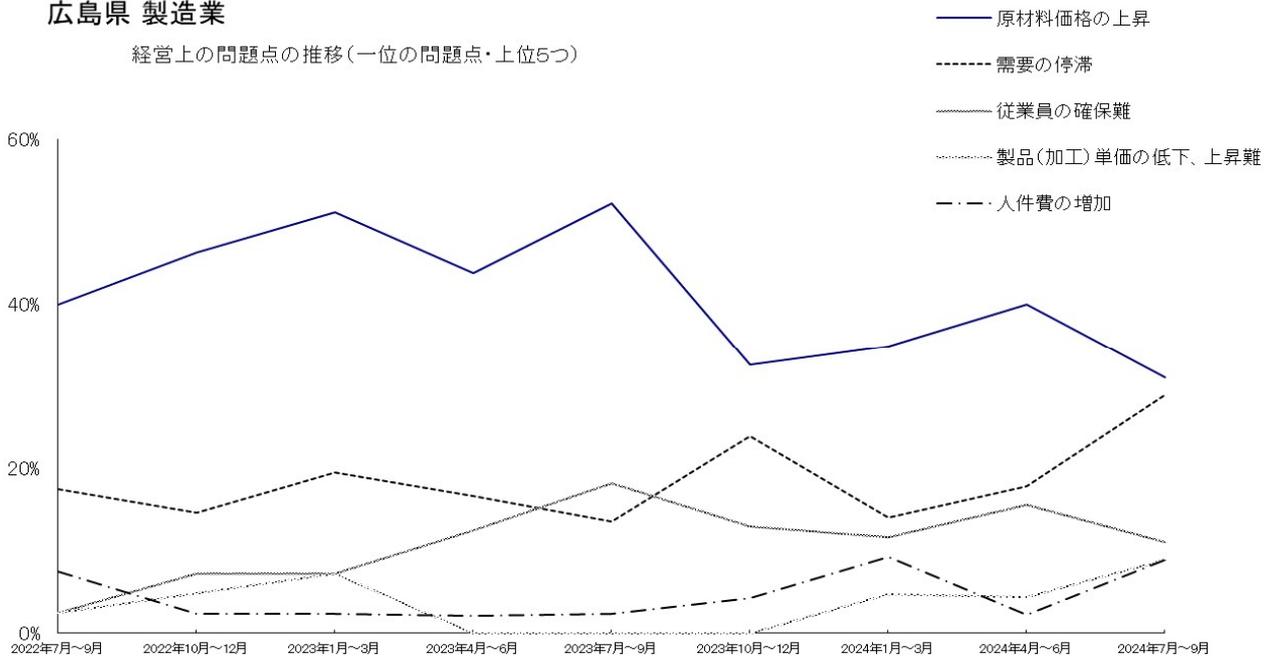
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



## 建設業（商工会地域）

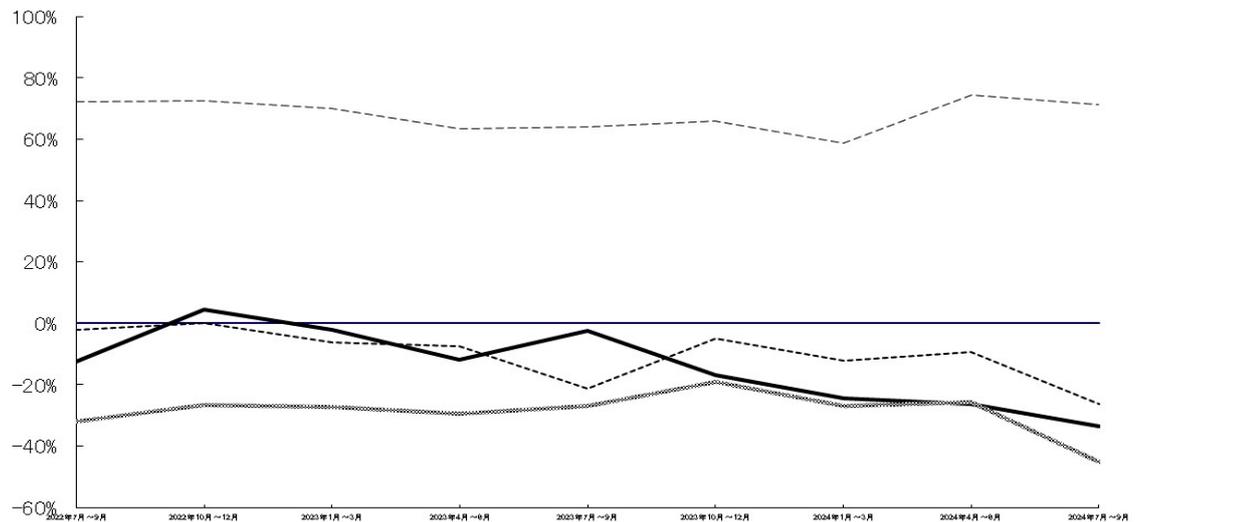
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.4～6	R6.7～9	前期との比較	R6.10～12	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-26.2	-33.4	↓	-38.1	↓	
材料仕入単価	74.4	71.4	↓	54.7	↓	
採算	-25.6	-45.2	↓	-33.3	↑	
資金繰り	-9.3	-26.2	↓	-19.0	↑	

### 広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



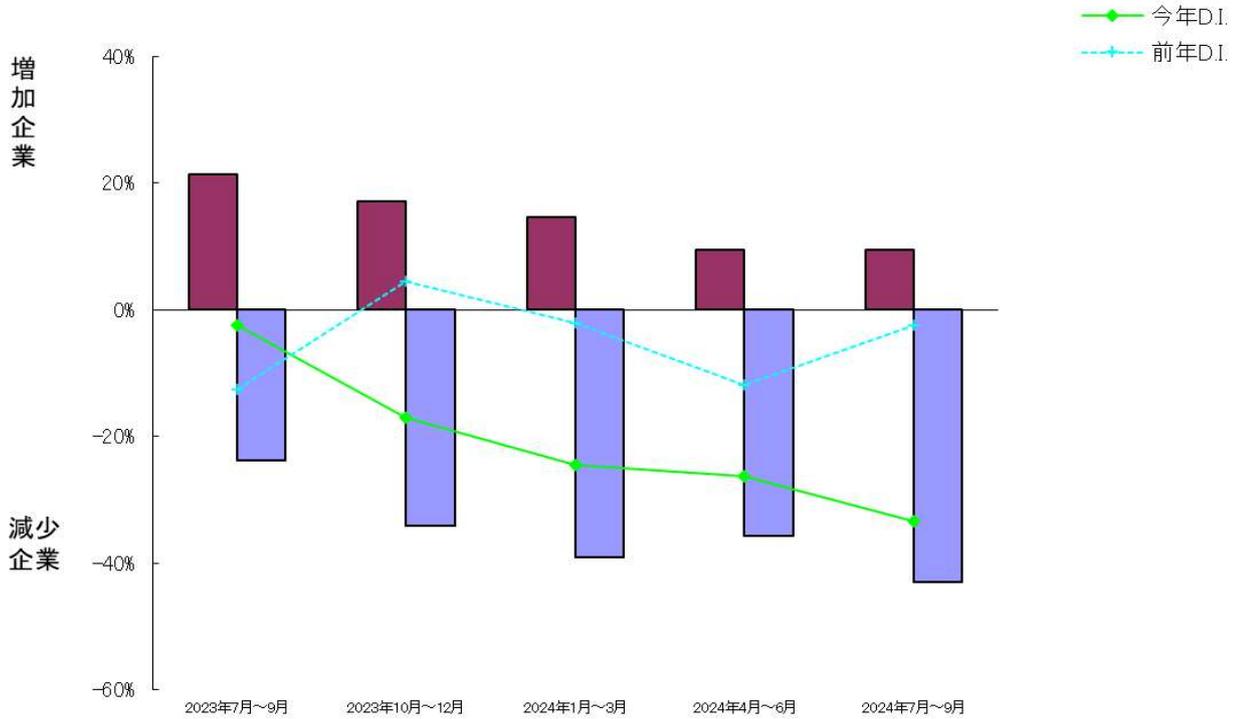
- ..... 企業のコメント .....
- ・ 猛暑日が続いたことによる作業効率の低下および需要の停滞
  - ・ 屋根瓦の需要が少なくなり、メーカーが少なくなる。この事により供給不足、材料高騰の心配有り
  - ・ 当社の事業内容は主に水道配管設備等の設置や修理などですので、とくに景気などの影響に左右されることなく業況は開業当初よりあまり変動していない様に思います。
  - ・ 材料費等の高騰により利益が出にくい状態となっている。
  - ・ 受注は、多くなってきました。景気も少し良くなって、高騰している中で若干木材の仕入が安くなってきました。
  - ・ 新築物件の減少、材料の高騰により受注金額や受注件数が毎年減少している
  - ・ 材料の価格が値上がりしているが、全部客単価に転嫁する事は非常に難しいのが現状である。しかし、そうして行かなければならず、影響は大きい。利益が出る出ないと言う事ではなく、仕事があるだけで有難い現状です。
  - ・ 慢性的な人手不足であり、業界全体としての課題となっている。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

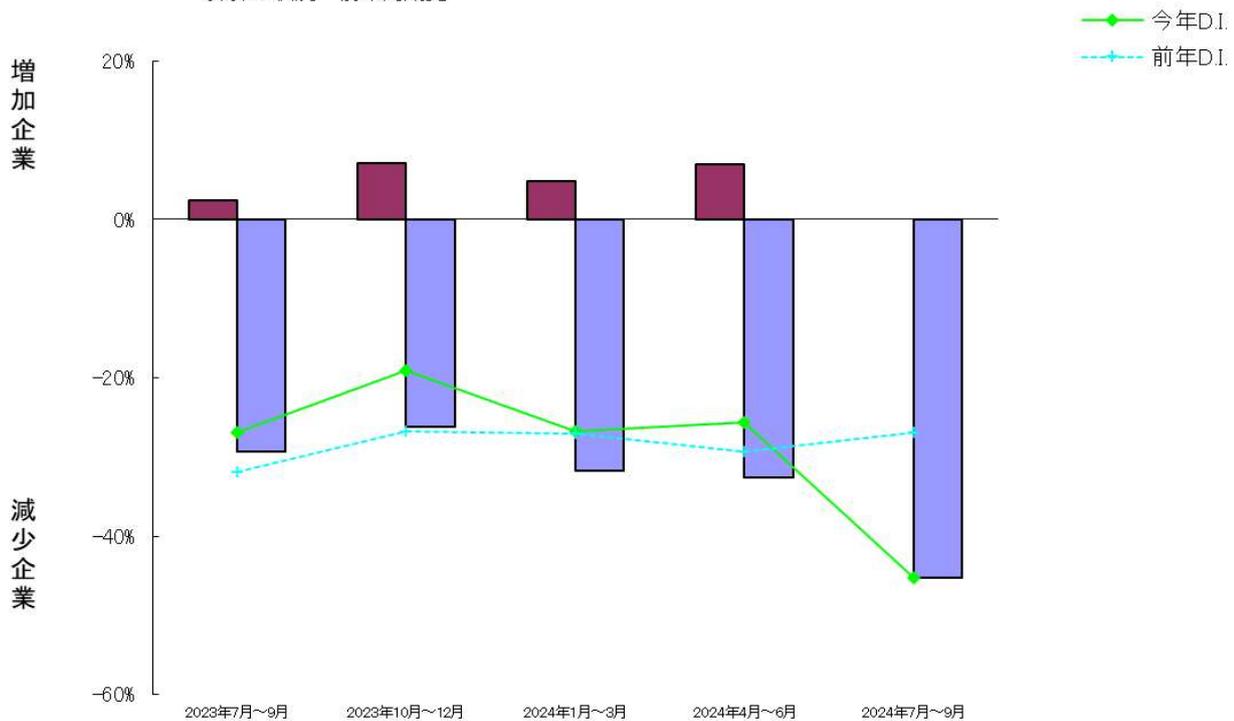
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

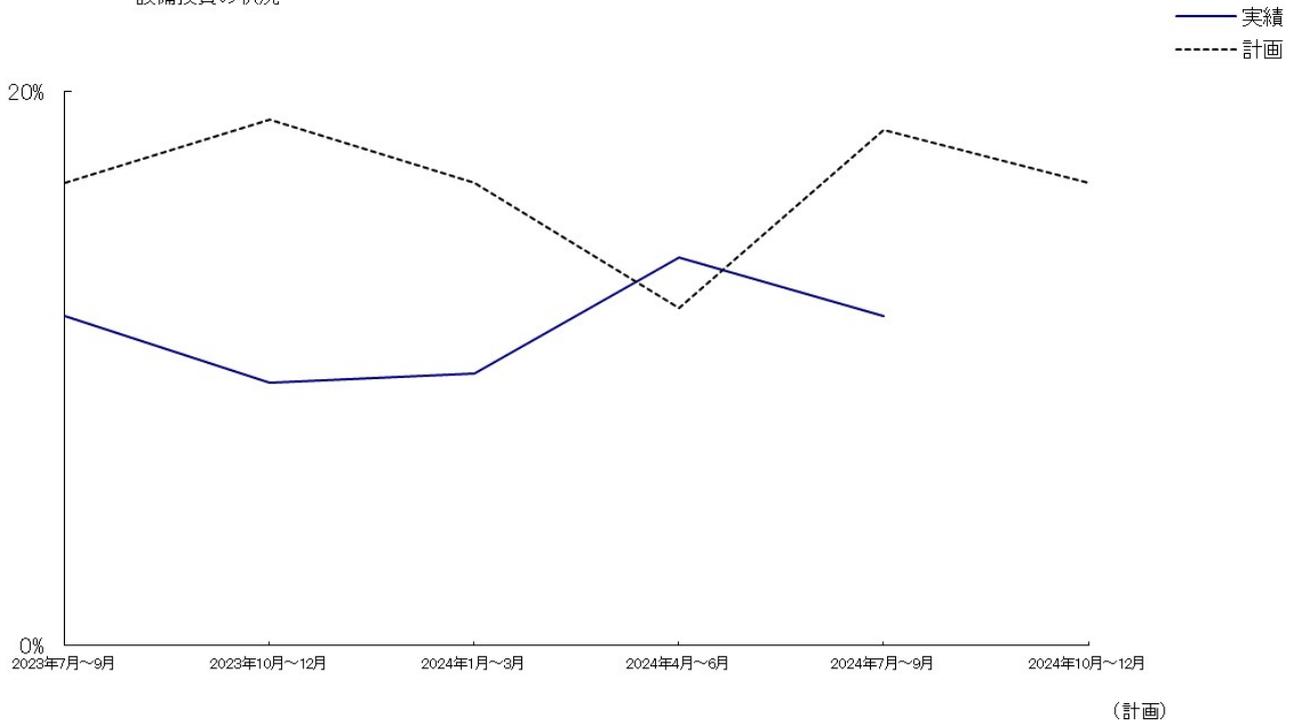
採算の状況-前年同期比-



## 4.設備投資の状況

### 広島県 建設業

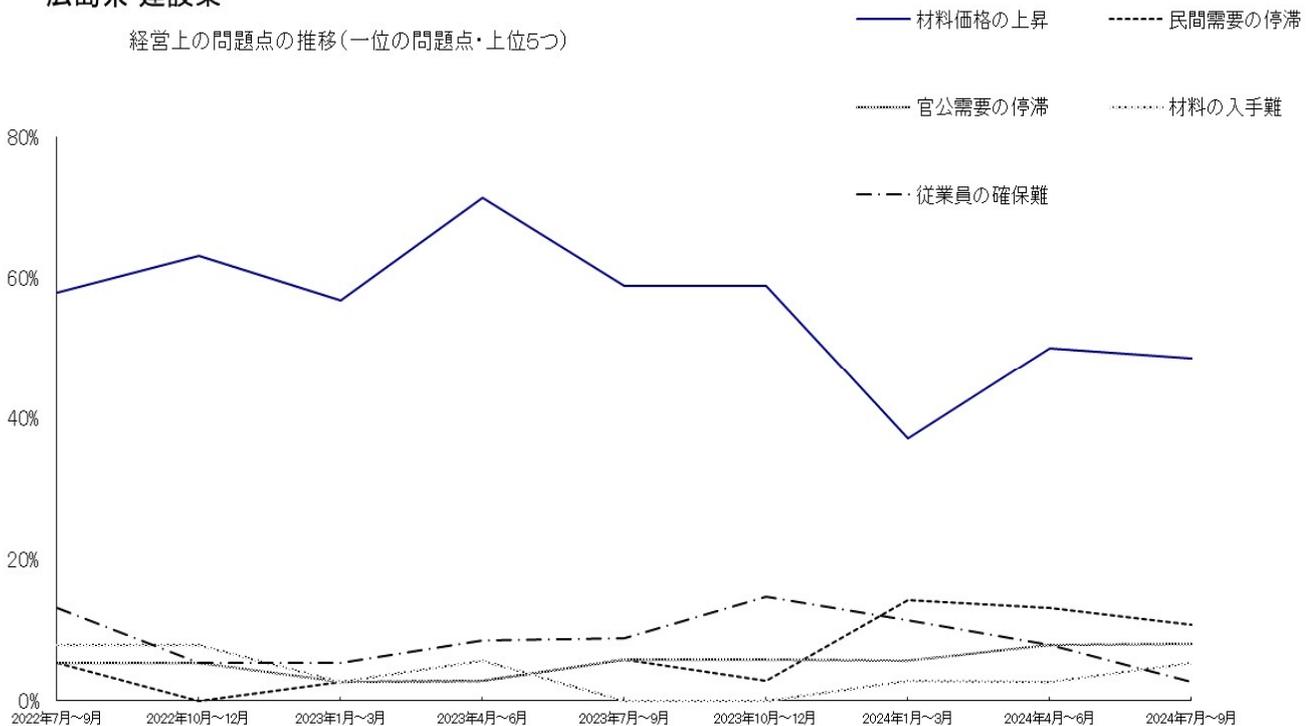
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

### 広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



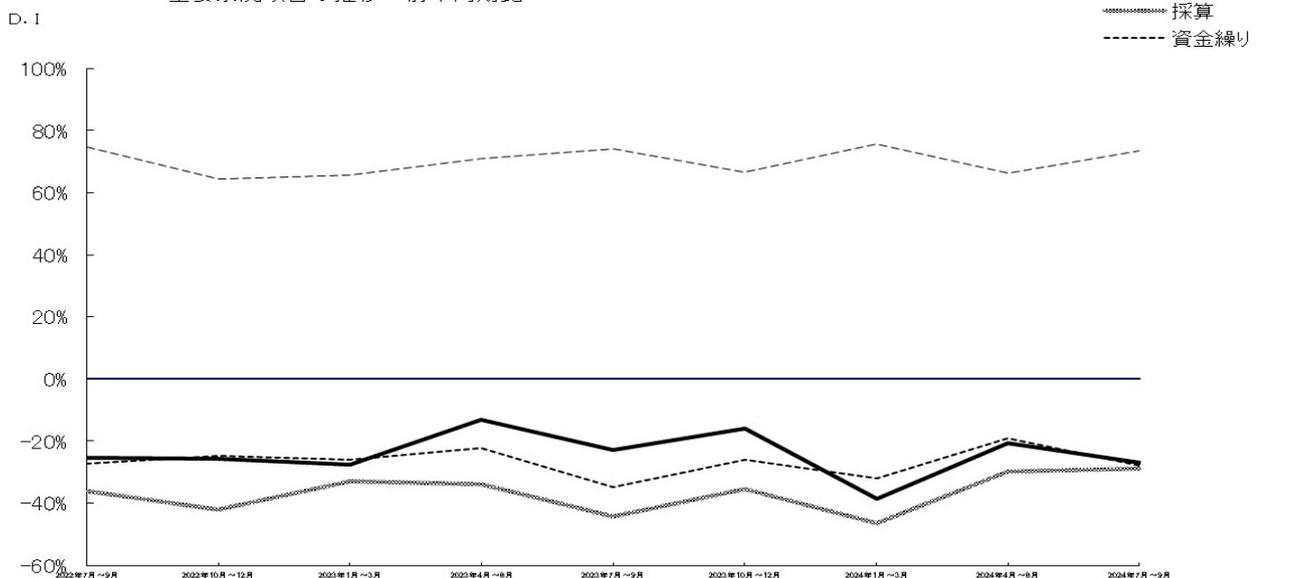
## 小売業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	(前期)		(今期)	
	R6.4~6	R6.7~9	前期との比較	R6.10~12 今期との比較
売上額	-20.6	-26.9	↘	-29.8
商品仕入単価	66.2	73.5	↗	67.7
採算	-29.8	-28.8	→	-30.3
資金繰り	-19.1	-28.0	↘	-19.1

### 広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



### ..... 企業のコメント .....

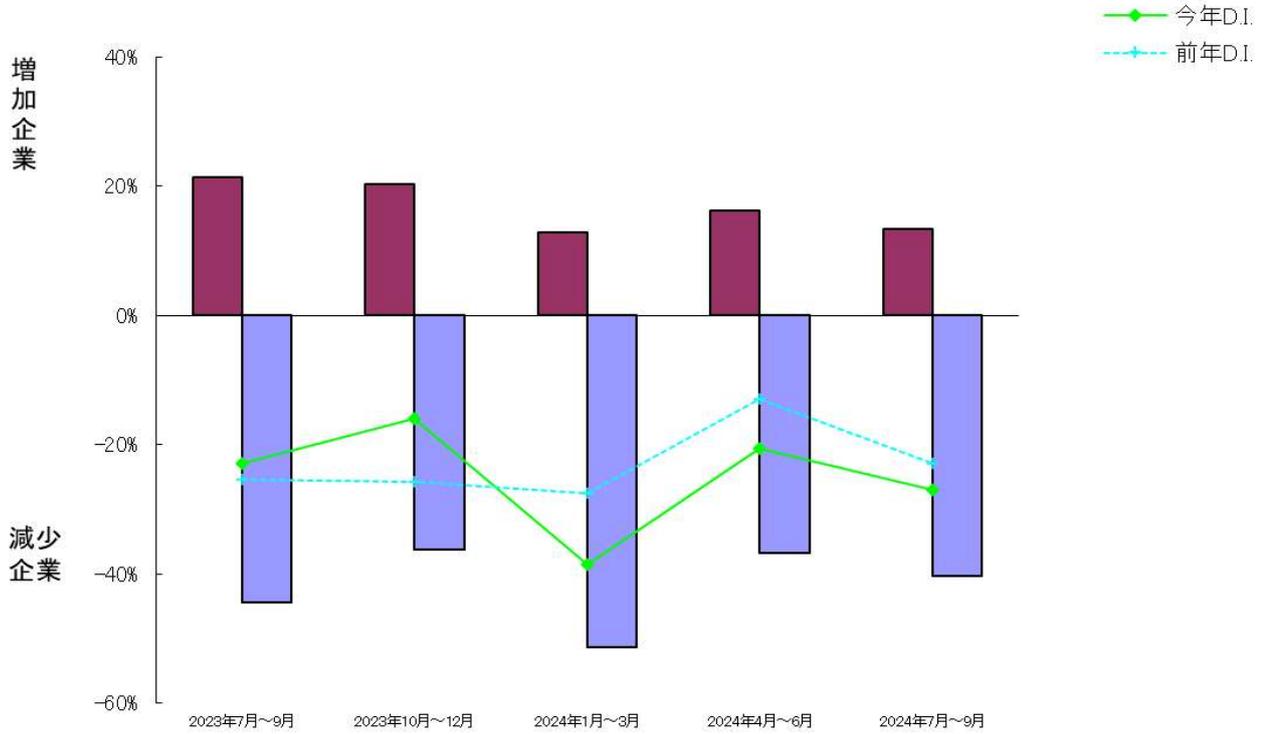
- ・ 高齢化社会の中で当店顧客も紛れもなく殆どが70才以上であり、日々亡くられたり、施設に入居されたりなどで顧客の減少は著しい。もちろん新規客も多いが、これらもまた高齢者である。将来の売上が懸念される。
- ・ 長期的な物価高に伴い、買い控えなど、需要の停滞が続いている。価格の安い大型店へお客様が流れている。加えて売掛金の回収、買掛金の支払いが厳しい傾向にある。
- ・ 商品の価格が上昇している為、1品単価や客単価は上がる傾向にあるが、客数が每期減少している為、売上は不変な状況である。何か良い策はないだろうか？
- ・ 長年の高齢者顧客の自然減、子供を含む若い家族世帯の郊外型施設への流失。合併による町内官公需の減少等従来型の地域小規模小売店は客数減少で悩む。状況は今後も加速しながら続く。売上減少とコスト高は二重苦。
- ・ 昨対と比較して毎月売上利益ともに上昇し続けている。しかしお土産需要は下がっている。仕入単価の値上げも考慮して利益率の高い新商品を秋から冬にかけて出していきさらなる上昇を目指していきたい。
- ・ 物価高により買い控えや、仕入商品の値上がり、商品不足がある。売れ筋商品は早々になくなるので、商品はあっても販売に苦労する。仕入れ先が減っている事も要因となっている。
- ・ 今までのお客様がご高齢になり、店舗に足を運びづらくなってきている。また、若年層の新規お客様は増えていかない。

## 小売業（商工会地域）

### 2.売上額 -前年同期比-

#### 広島県 小売業

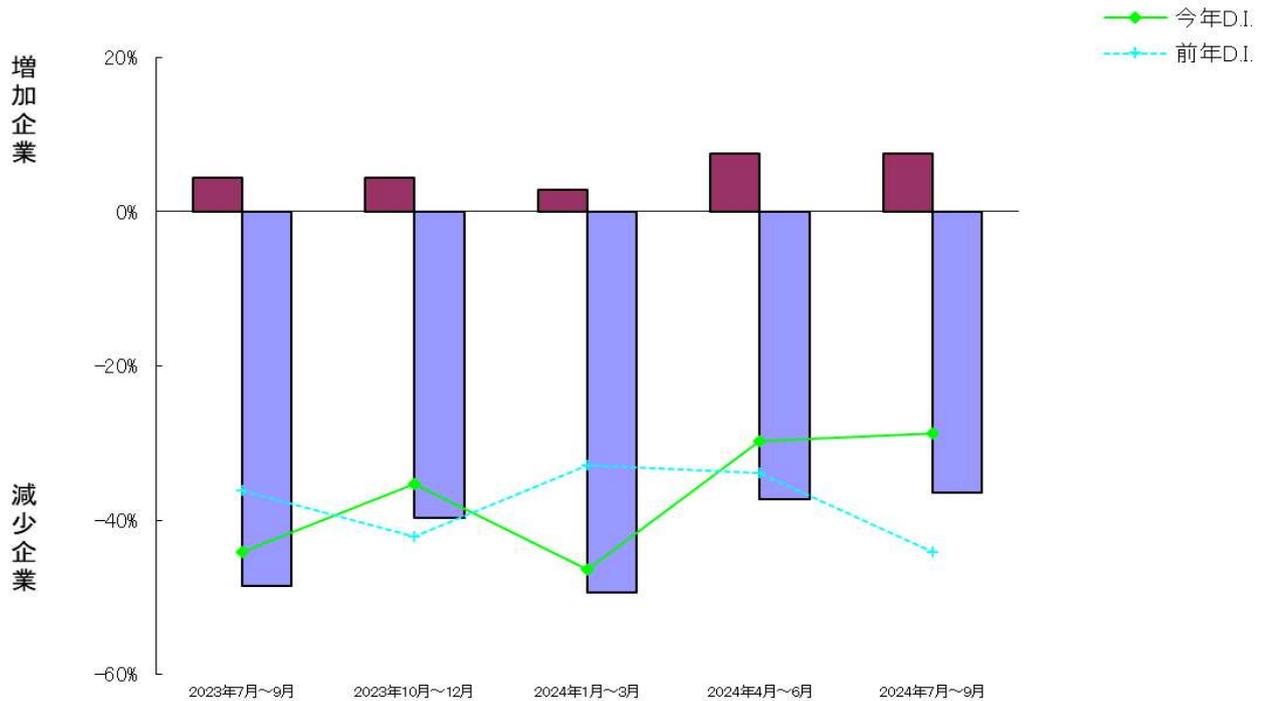
売上額の状況-前年同期比-



### 3.採算(経常利益) -前年同期比-

#### 広島県 小売業

採算の状況-前年同期比-

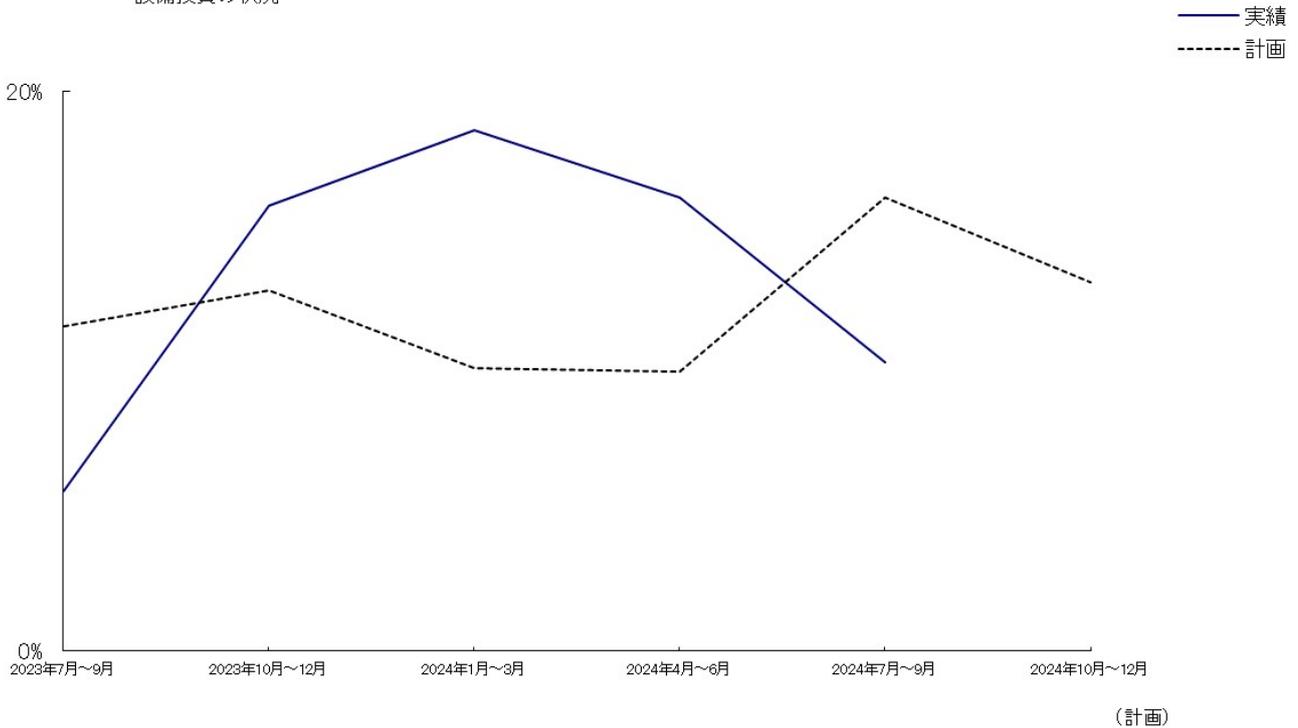


## 小売業（商工会地域）

### 4.設備投資の状況

広島県 小売業

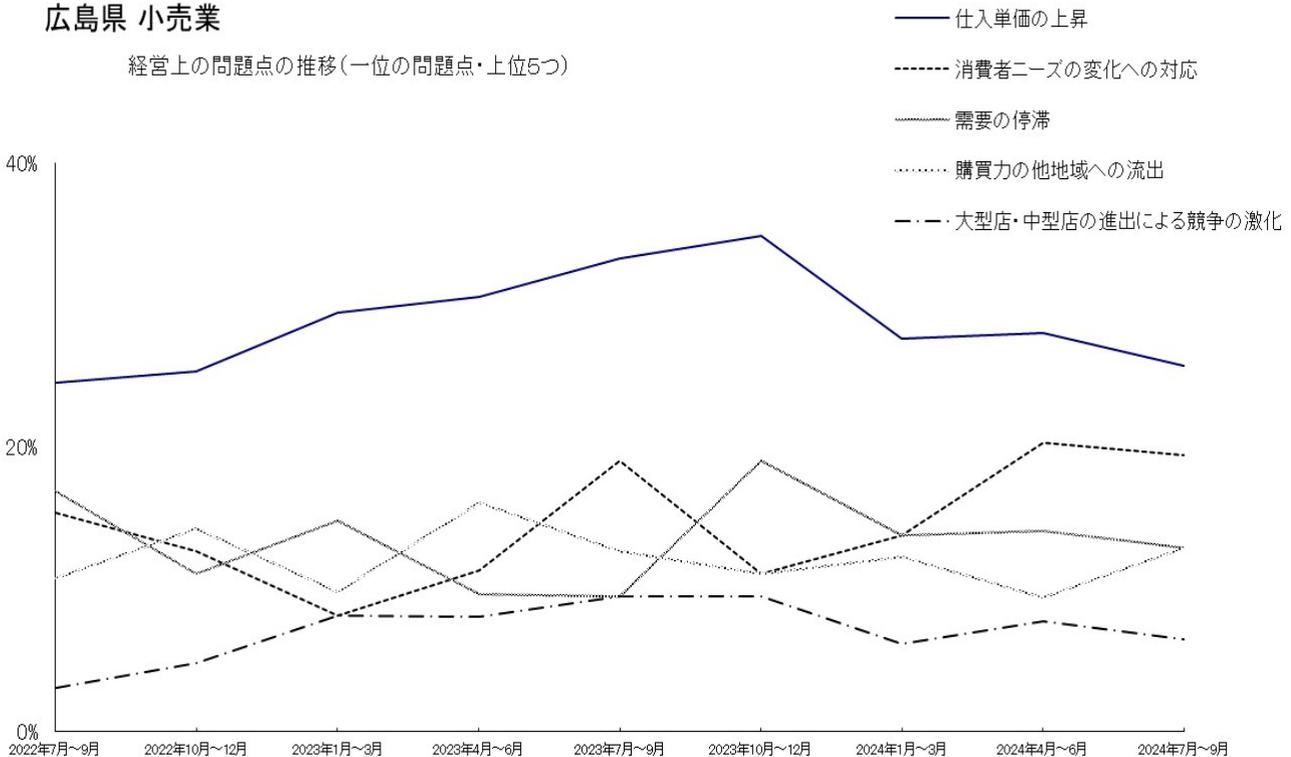
設備投資の状況



### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



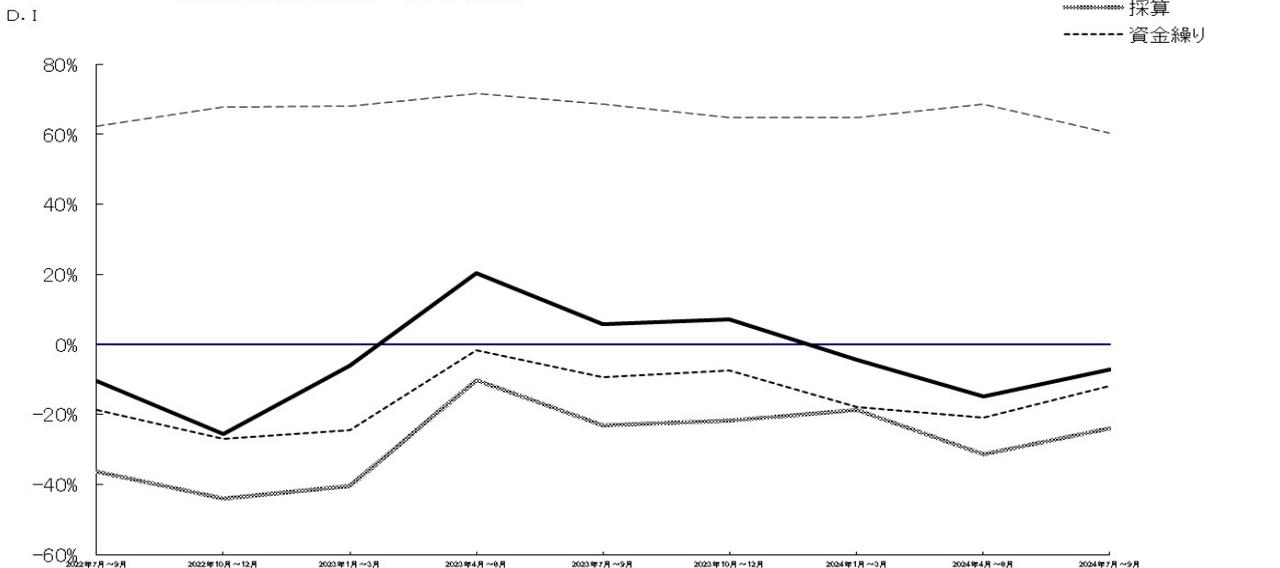
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.4～6	R6.7～9	前期との比較	R6.10～12	今期との比較	
売上額	-14.7	-7.2	↗	-13.1	↘	
材料等仕入単価	68.6	60.3	↘	53.0	↘	
採算	-31.3	-23.9	↗	-17.9	↗	
資金繰り	-20.9	-11.8	↗	-11.8	→	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



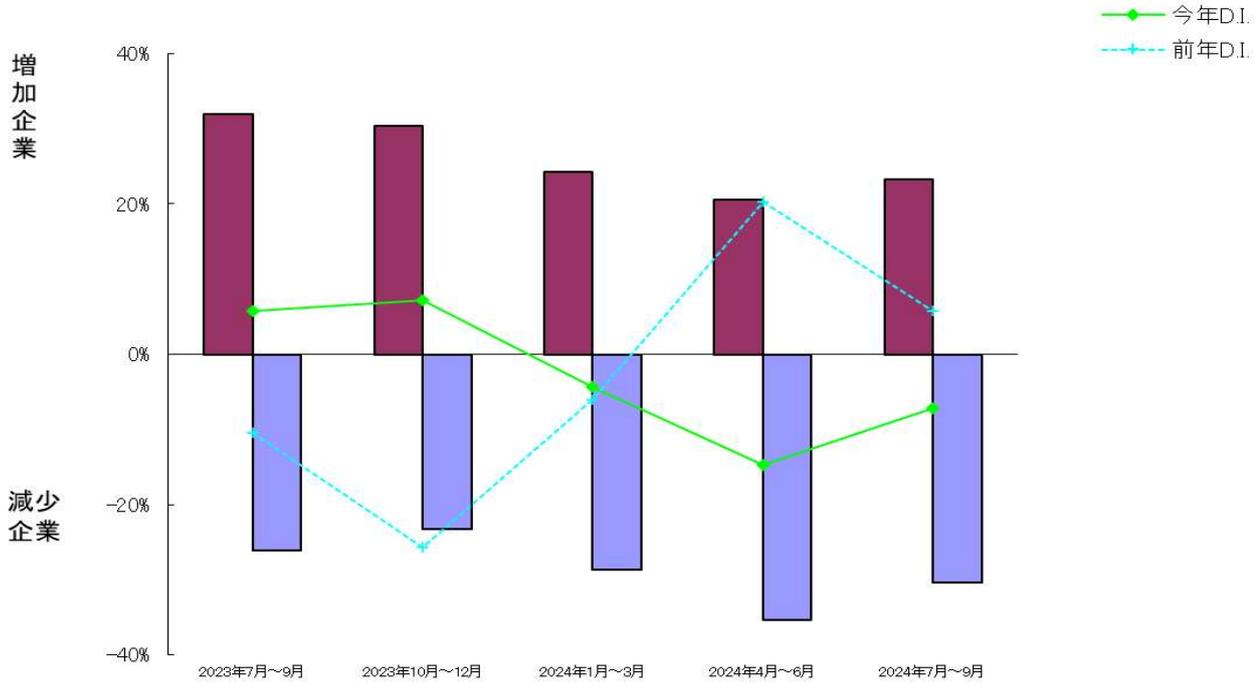
- ..... 企業のコメント .....
- ・ 外国人が増えたこと、暑いことから忙しくなった。
  - ・ 仕入高の高騰。問屋を何店舗も回っている。
  - ・ 数年、物価高騰等しているが請負単価上昇が伴っていないため利益を圧迫している状況が続いている。
  - ・ 景気が回復すると思っていたが物価上昇で状況はよくない。電気代ガス代、仕入代すべて高くなる。
  - ・ 最低賃金の改定や原材料費の高騰により収益性が低下している。キャンプ場は全国的に昨今のブームに陰りを見せており、これから数年は集客に苦勞すると思われる。道の駅は天候不順により農作物の確保が課題である。
  - ・ 客足の伸びを感じている。廿日市市近郊の大型ショッピングセンター出店、コロナと先行きの見通せない時期が終わり、確実に景気は好転しているように思う。しかし店舗施設の老朽化の為いつまで続けられるかと思う。
  - ・ 売上高は前期に比べて伸びているが、それ以上に経費がかかっている為、利益を圧迫している。人口減により島内で人手を確保するのが困難な状況です。
  - ・ 前期にPOS化レジ・タブレット注文システムを導入して、客単価が上昇して、売上が上がった。来期も上昇の見込み

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

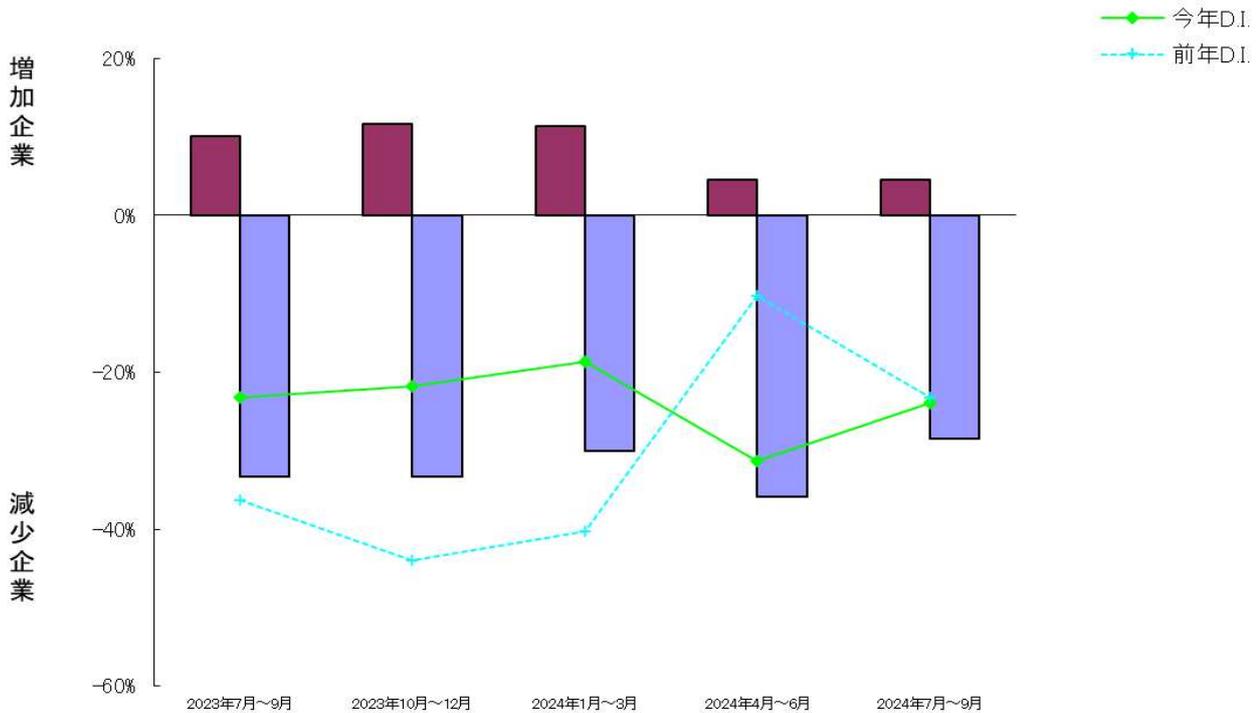
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

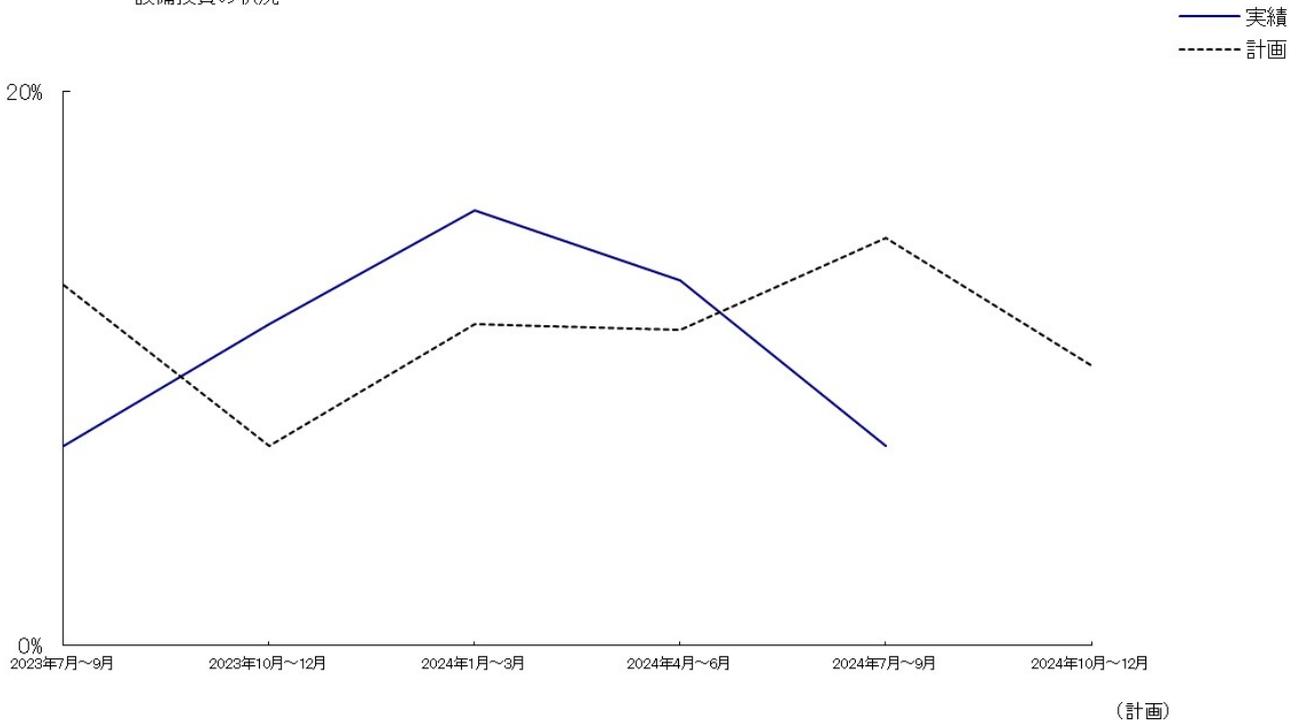
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



### 4.設備投資の状況

広島県 サービス業  
設備投資の状況



### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業  
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）

